

令和6年度(2024年度) 観察・実験を通じた問題解決の力を育む理科教育充実研修(小学校) 実施要項

1 目的

「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進することを目的とします。

2 主催

北海道立教育研究所

3 期日

- (1) 令和6年(2024年)9月4日(水) 遠隔型研修Ⅰ
- (2) 令和6年(2024年)9月5日(木)～9月26日(木) オンデマンド型研修
- (3) 令和6年(2024年)10月3日(木)～10月4日(金) 集合型研修
- (4) 令和6年(2024年)12月18日(水) 遠隔型研修Ⅱ

4 実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、全4回の研修のうち、1回目と4回目の研修は遠隔型研修、2回目の研修はオンデマンド型研修、3回目の研修は集合型研修により実施します。

(2) 会場

- ア 遠隔型研修Ⅰ及びⅡ、オンデマンド型研修
各受講者の勤務校(勤務校にしながら受講することが可能です。)
- イ 集合型研修
酪農学園大学(江別市文京台緑町582番地)

5 参加対象

小学校教諭

6 研修内容及び日程(職場実践(自己研修)を除く)

9/4(水) 遠隔型研修Ⅰ	9/5(木)～ オンデマンド型研修	10/3(木) 集合型研修	10/4(金) 集合型研修	12/18(水) 遠隔型研修Ⅱ
接続受付 [14:30~14:45] 接続最終確認 [14:45~15:00]	説明・講義 〔約30分〕	受付 〔8:50~9:15〕	実習 〔9:00~11:30〕 エネルギー領域の 観察・実験	接続受付 [13:00~13:15] 接続最終確認 [13:15~13:30]
オリエンテーション 〔15:00~15:10〕	①理科教育の現状 と課題	開講・オリエンテーション 〔9:15~9:30〕		実践交流及び情報交換 〔13:30~15:10〕 授業改善・評価の充実 についての自校での 実践成果発表・交流
説明・協議 〔15:10~16:10〕 ①課題の明確化Ⅰ ②STEAM教育との関 連性	②授業改善と評価 の充実 ③実習のポイント	講義・演習 〔9:30~10:00〕 課題の明確化Ⅱ		
		講義 〔10:00~10:40〕 「STEAM教育」 酪農学園大学准教授 金本 吉泰 氏 【酪農学園大学B4号館 化学実験室B】	【酪農学園大学B4号館 化学実験室B】	協議 〔15:20~15:35〕 理科に関する先進的な 取組事例など
		実習 〔10:50~12:00〕 粒子領域の観察・実験 【酪農学園大学B4号館 化学実験室B】	実習 〔11:40~12:00〕 地球領域の観察・実験 【酪農学園大学B4号館 化学実験室B】	研修の振り返り 〔15:35~16:10〕 今後の取組の明確化
		昼食・休憩 (12:00~13:00)		
		実習 〔13:00~14:00〕 (午前の続き)	実習 〔13:00~15:10〕 (午前の続き)	
		実習 〔14:10~16:50〕 生物領域の観察・実験 【酪農学園大学B4号館 化学実験室B】	研修の振り返り 〔15:20~16:00〕 【酪農学園大学B4号館 化学実験室B】	

7 講師

集合型研修

【講義】「STEAM教育」

酪農学園大学准教授 金本吉泰氏

8 その他

(1) 申込み時の留意事項

ア 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただきます。

そのため写真に顔等が映り込む場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

イ 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）を用意してください。

(2) 受講時の留意事項

ア 受講者としてふさわしい服装で受講してください。

イ 本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードしないでください。

ウ 接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。

エ 集合型研修では、白衣またはエプロンを持参してください。